



物価高騰緊急支援寄附募集キャンペーンの結果と今後の対応について

1 目的・概要

キャンペーンの目的

本学は、半導体産業など地域社会の変化や少子化の進行などに対応し、教育・研究機能の強化に努めている。

しかし、急激な物価高騰による厳しい財政状況の中で、質の高い教育環境や学生サービスの維持・向上には、これまで以上に多くの支援が必要となっている。

そこで、未来を担う学生たちが安心して学び、成長できる環境を守るために、保護者の皆様や卒業生、地域社会の皆様に支援を募るもの。

期間・周知方法

- ◆ 募集開始日 令和7年11月12日(水)～令和8年2月28日(土)
- ◆ 周知方法 大学公式ウェブページ、基金HP、大学公式SNS、メルマガ、記者発表、保護者へのハガキ送付、全教職員宛メール、教員宛通知、各学部等同窓会周知依頼、OBへの個別依頼

2 募集結果

寄附総額・件数

寄附総額 : 36,440,000円

寄附件数 : 502件

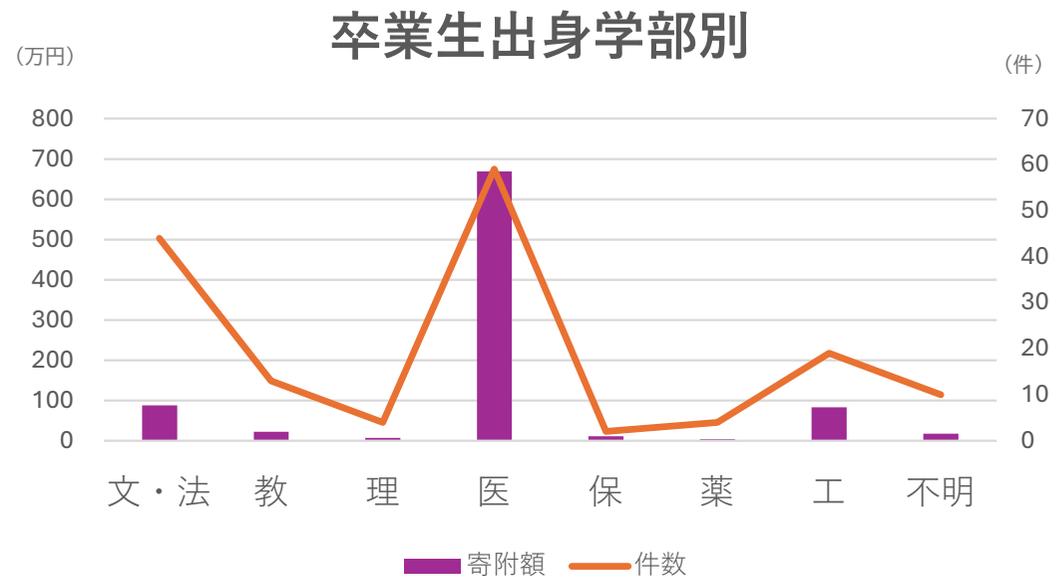
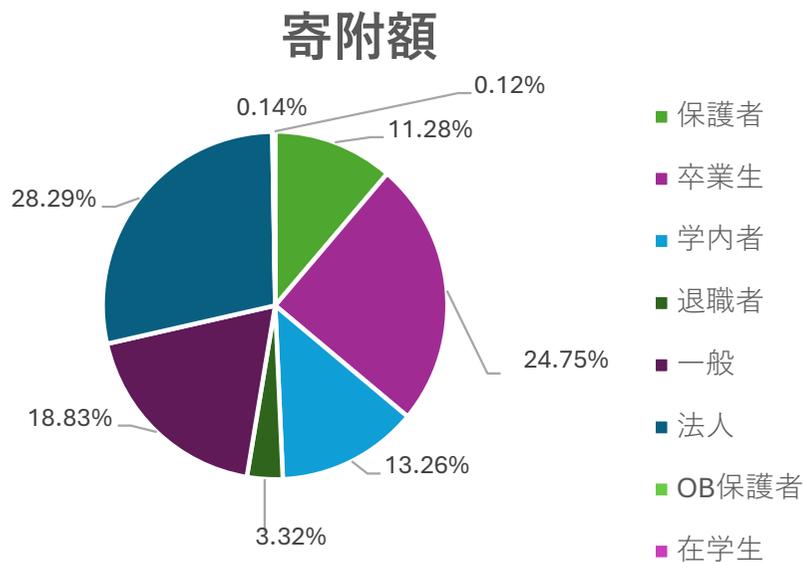
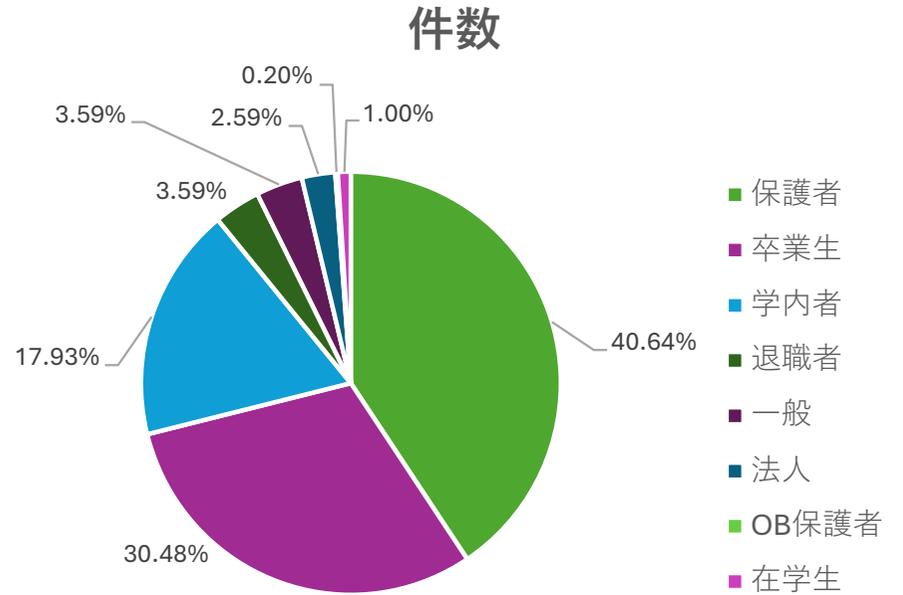
この度は多大なるご寄附を賜り、
厚く御礼申し上げます。皆様の
温かいご支援に、心より深謝
申し上げます。



2 募集結果

寄附者種別

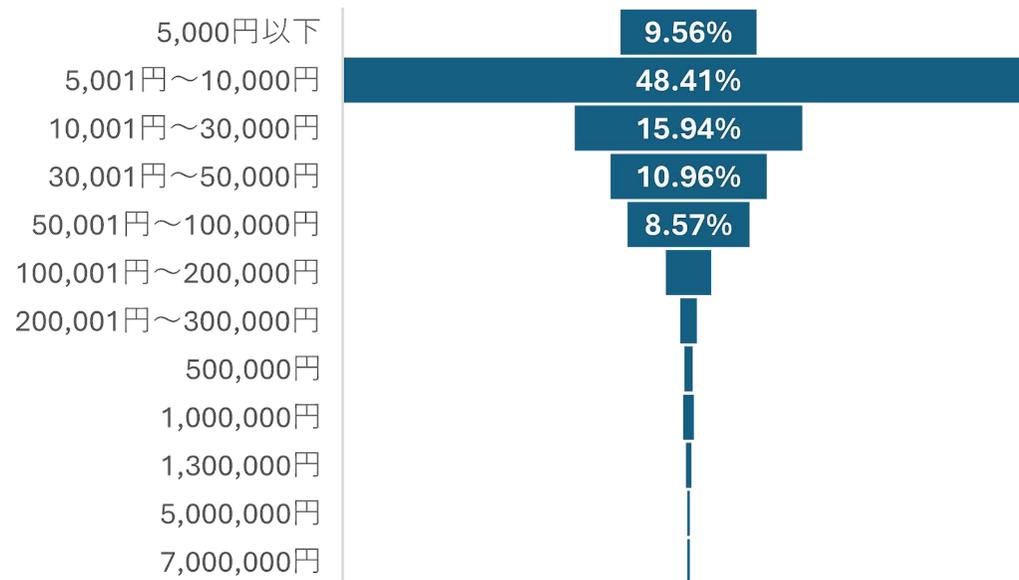
	寄附額		件数		中央値(円)
	金額	割合	件数	割合	
保護者	4,110,000	11.28%	204	40.64%	10,000
卒業生	9,019,000	24.75%	153	30.48%	10,000
学内者	4,833,000	13.26%	90	17.93%	30,000
退職者	1,210,000	3.32%	18	3.59%	50,000
一般	6,863,000	18.83%	18	3.59%	10,000
法人	10,310,000	28.29%	13	2.59%	500,000
OB保護者	50,000	0.14%	1	0.20%	50,000
在学生	45,000	0.12%	5	1.00%	10,000



2 募集結果

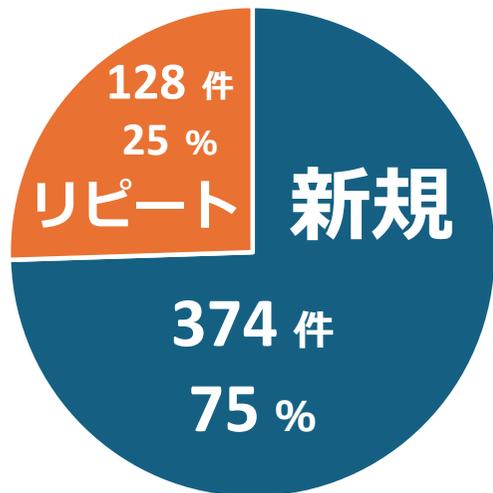
金額階層別

5,000円以下	48件	9.56%
5,001円～10,000円	243件	48.41%
10,001円～30,000円	80件	15.94%
30,001円～50,000円	55件	10.96%
50,001円～100,000円	43件	8.57%
100,001円～200,000円	16件	3.19%
200,001円～300,000円	6件	1.20%
500,000円	3件	0.60%
1,000,000円	4件	0.80%
1,300,000円	2件	0.40%
5,000,000円	1件	0.20%
7,000,000円	1件	0.20%



2 募集結果

新規 / リピーター 比率



特設ページアクセス数

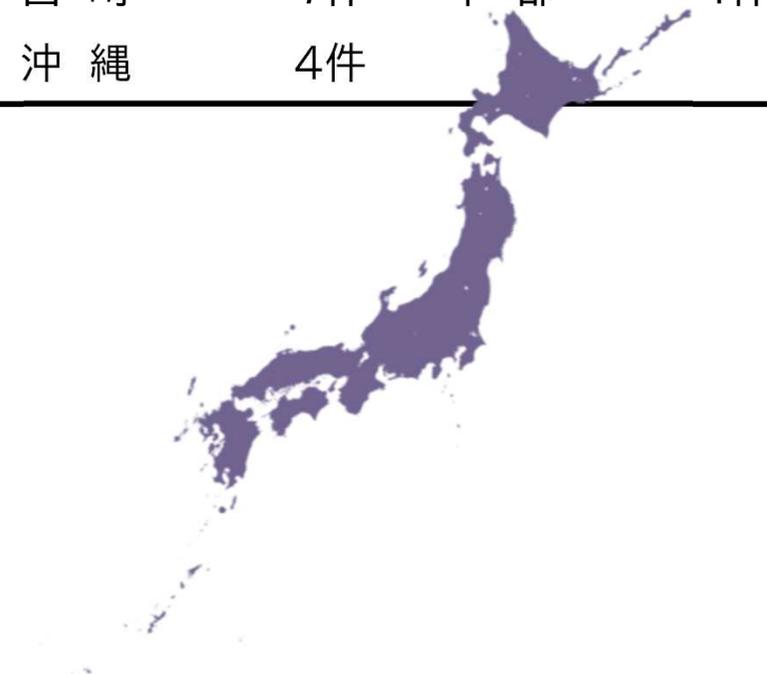


寄附件数

502件
(9%)

地域分布

熊本	282件	関東	19件
福岡	81件	中国	15件
佐賀	21件	近畿	13件
長崎	19件	四国	4件
大分	19件	北海道	1件
鹿児島	15件	東北	1件
宮崎	7件	中部	1件
沖縄	4件		



2 募集結果

寄せられた応援メッセージ

- ▶私は来年、幸いにも古稀を迎えます。北九州市の学校関係で働いています。母校が環境にも恵まれ？頑張っておられるのが、何か誇らしく、日々感謝しながら健康第一で過ごしております。今後もう一段レベルアップされ存在感のある大学として、資金面でも微力ながら継続的に応援して参ります！
- ▶長女が卒業生です。また熊本地震の時に体育館に避難させていただきました。その時学生さんやスタッフの皆さんにはとてもお世話になり助けられました。なにか恩返しと思い、少しですが寄付させていただきました。ありがとうございました。
- ▶今回の措置、苦渋のご決断だったかと思います。大変な時期ですが、皆さんが支え合って頑張っておられる姿は感動的で素晴らしいと思いました。逆境の中でもきっと新しいチャンスや成長があるはずです。みんなで力を合わせれば、どんな困難も乗り越えられると信じています。
- ▶私は熊本出身で、貴校に子供が在籍しており、今後も国益の一端を担う教育・研究の向上と学生支援の維持に少しでも寄与できれば幸いです。
- ▶熊本大学は現在、半導体人材の育成強化で全国的にも注目されていると聞いています。この勢いで半導体だけでなく、様々な分野で将来の日本のリーダーを多数輩出して欲しい。
- ▶子どもが熊本大学で学ぶことを誇りに思っております。これからも学生一人ひとりが、それぞれの目標に向かって挑戦できる大学であることを願っています。
- ▶未来を担う日本の学生は日本の宝です。県外の在学生の保護者ですが、熊本県は大好きです。熊本大学へ進学させて良かったと思ひ、少額ではありますが応援させて下さい！
- ▶卒業生として、また在学生の保護者として、熊本大学の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げ、微力ながら寄附させていただきます。
- ▶(学生)学長先生のおっしゃる挑戦し続ける大学を学生自身としても体現していきたいと思ひます。
(保護者)わずかで気持ち程度ですが有効に活用いただけましたら幸いです。
- ▶次々に新たな挑戦を行い、イノベーションを続ける母校を誇りに思っています。熊本大学の益々の発展を祈念しております。

3 今後の対応について

令和8年度(2026年度)の対応

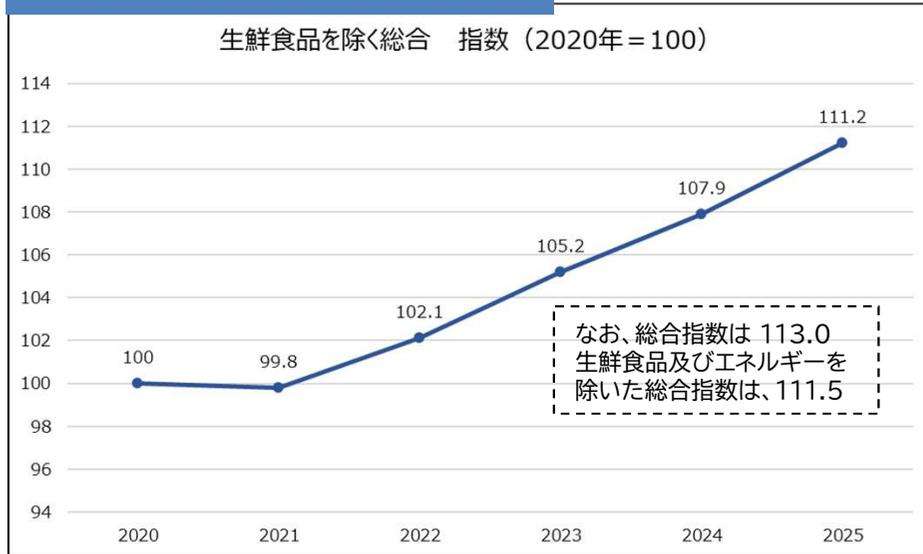
- ◆ 各方面からのご支援を活用し、**教育環境整備の一部を前倒して実施**します。学生会館については、数年以内に改修に着手できるよう、必要な準備を進めます。
- ◆ 財源不足については、これまでの自己財源の多様化の取組に加え、本学の**諸料金規則について、物価変動を踏まえた改定(概ね、8~10%)**を行います。
- ◆ ただし、皆様からのご支援を踏まえ、**授業料については令和8年度からの改定は行いません。**

令和9年度(2027年度)以降の対応

- ◆ 発展し続ける大学として、必要な投資を続けるための財務改革を進めます。
- ◆ 人件費管理方法の改善などの経費節減に加え、ネーミングライツ、土地の貸付け、資金運用など、引き続き、自己財源の多様化を進めます。
- ◆ インフレが続く傾向を踏まえ、**引き続き、物価変動に応じた諸料金改定を、随時、実施**します。また、**2027年から、現行授業料の実質価値が目減りしないようにするための授業料の改定を考えています。**(※学生等との意見交換を予定)

2020～2025年までで消費者物価の総合指数は13%、生鮮食料品を除く総合指数では11.2%上昇。

生鮮食品を除く総合／全国／年平均



総務省「消費者物価指数」に基づき事務局作成

近年の変動 (生鮮食品を除く総合／熊本市)

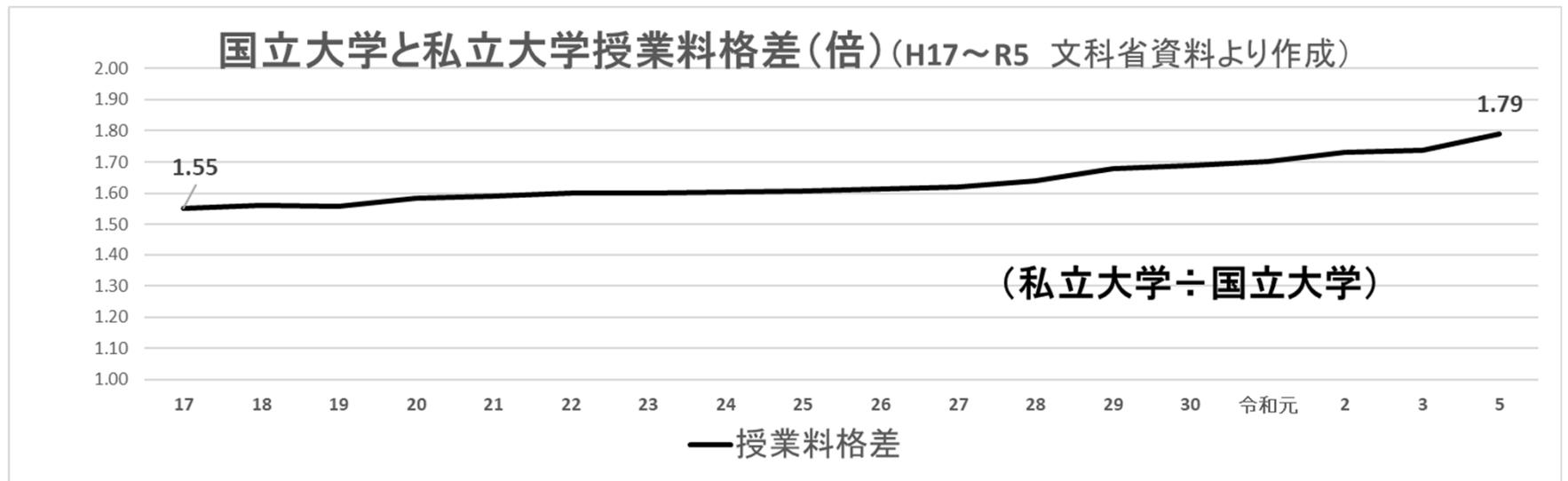


(注) 2016年1月～2020年12月は2015年基準、2021年1月以降は2020年基準。

(出所：総務省)

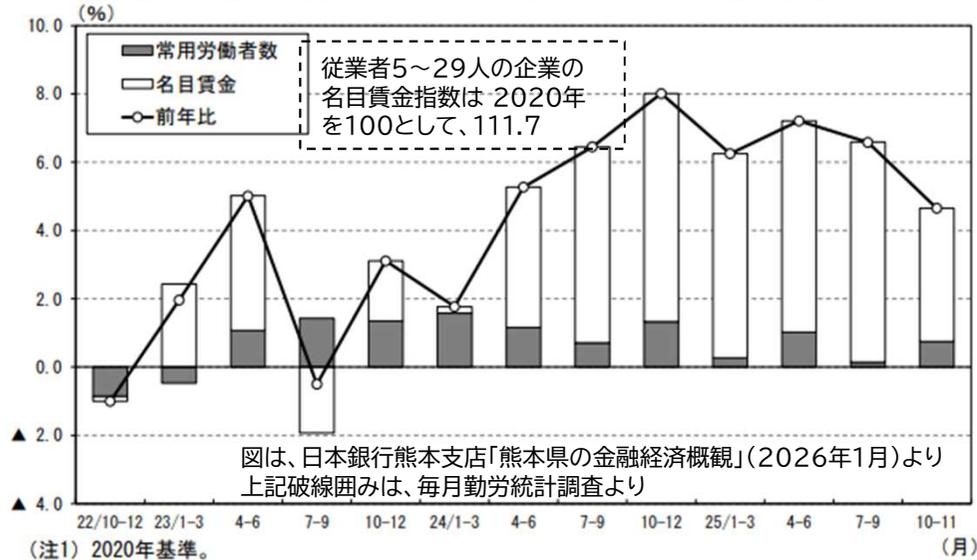
図は、日本銀行熊本支店「熊本県の金融経済外観(2026年1月)」より

私立大学の授業料も上昇が続いている。

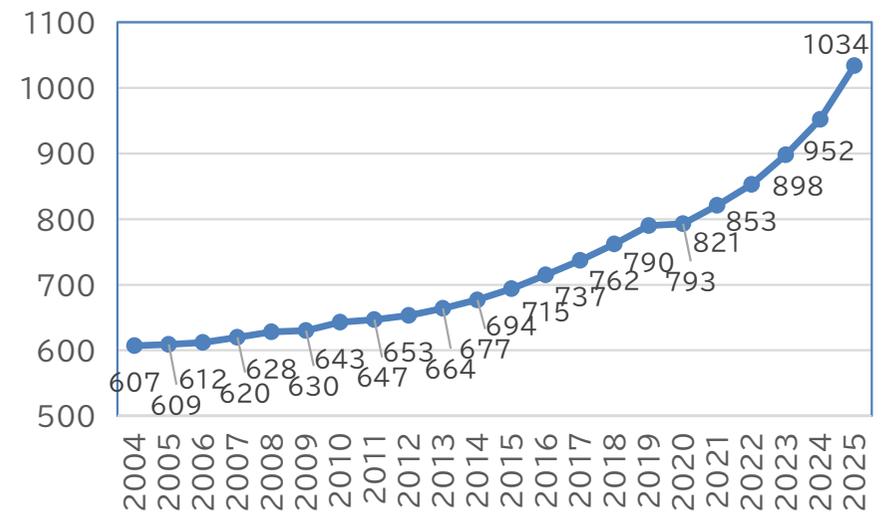


2020～2025年までで名目賃金(従業員5-29人)は11.7%上昇。

＜雇用者所得（熊本県、事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞

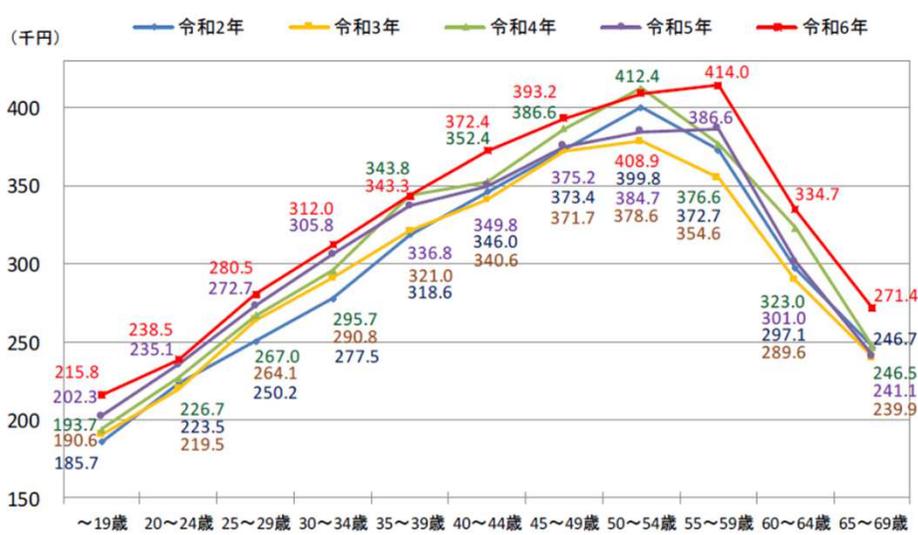


熊本県地域別最低賃金の推移



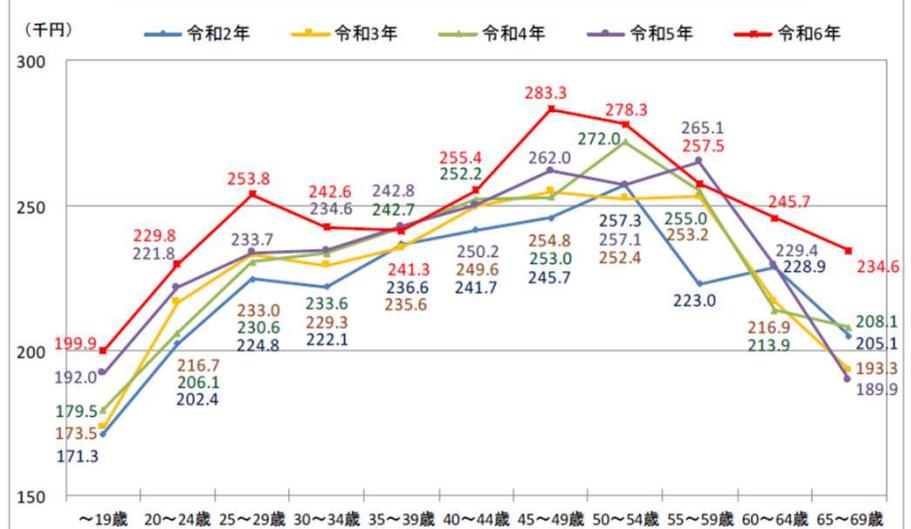
熊本労働局労働基準部賃金室「熊本県における賃金等の動き(令和7年版)」より

図8 熊本県における年齢別きまって支給する現金給与額の推移(男性)



資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

図9 熊本県における年齢別きまって支給する現金給与額の推移(女性)



資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

4 学生納付金の見直しの提案について

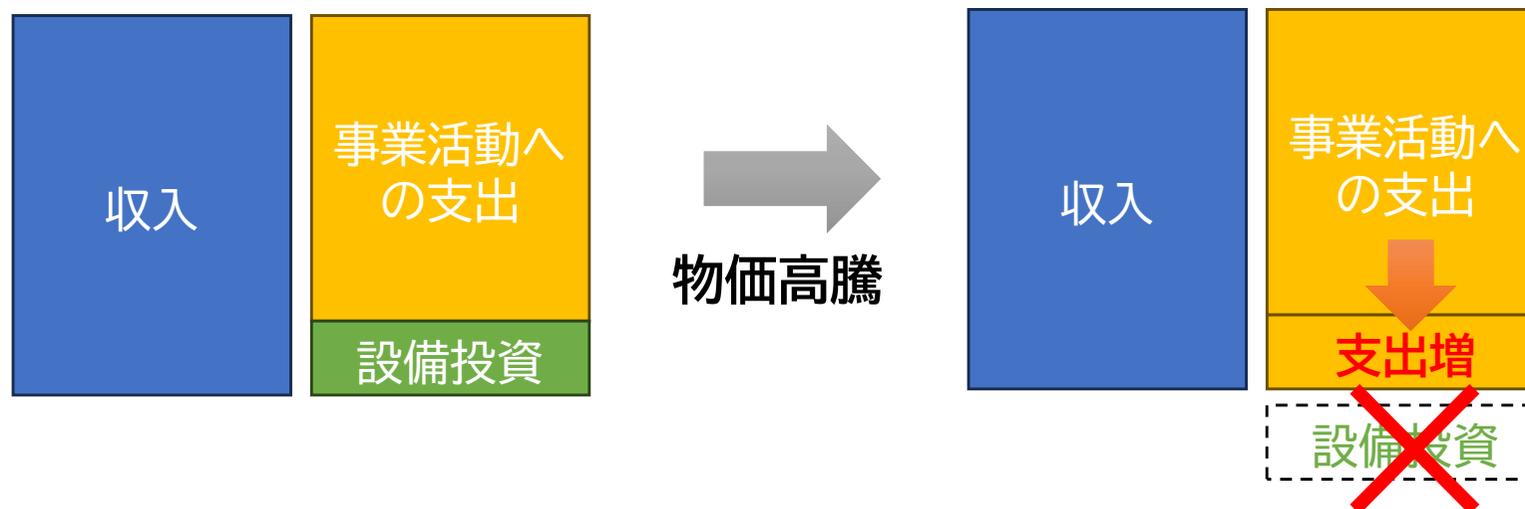
令和9年度(2027年度)からの授業料 (案)

- ◆ 約11% (59,000円)の値上げ → 年額59万4800円 (全学年一斉に実施)
- ◆ ただし、高等教育無償化において授業料減免の対象となる世帯、及び世帯年収425万円(現行380万円から約11%引き上げ)以下の学生は値上げ分を免除。
- ◆ また、2027年度以降においても、物価の動向を踏まえて、学生納付金の水準が実質目減りしていないかを定期的に確認。(「スライド制」の考え方を導入)

その他、学部等における諸経費 等

- ◆ 学部等ごとに必要となる諸経費への協力依頼についても、2027年度入学生から、順次見直しを実施。
- ◆ 留学生については、これらの必要となる諸経費に類する経費を、授業料として上乗せ徴収。(6万円程度を想定)
- ◆ なお、検定料、入学金については変更しない。

全学年一斉に実施する背景（昨年の学生との意見交換での配布資料より）



事業活動収支だけでもマイナスとなり、施設設備投資を全く行えない状況とは、すなわち、将来の学生のための資源を切り崩して、現在のために消費してしまっている状況

先延ばしになっている教育環境整備の例	該当額／年
①教育研究経費のうち、備品、修繕費の減少分	2.6億円
②授業科目増設のための非常勤講師の措置	0.1億円
③学内の無線LAN関連設備等の充実・更新	0.5億円
④MS365の無償提供	0.5億円
合 計	3.7億円

授業料について

TEL 096-342-3176 (財務課収入担当)

① 授業料の納付及び預金口座振替について

- 1) 本学授業料の納付方法は、原則として銀行等の預金口座からの預金口座振替としております。
振替預金口座の登録は、スマートフォンでのweb申請登録となります。登録方法等については、次ページ以降の「授業料口座振替登録のオンライン手続方法等について」及び「ネット口座振替受付サービスご利用案内」をご確認ください。
- 2) 本学在学中の授業料は、前期分は4月末日、後期分は10月末日が納付期限となります。
ただし、入学後最初の口座振替は手続の都合上、令和7年5月27日(火)となります。(口座からの振替日については、各学部の掲示板及び本学公式ウェブサイトで確認してください。)
- 3) 入学手続時に、授業料を払い込む必要はありません。

② 授業料の額について

本学における令和6年度の授業料は、前期分267,900円・後期分267,900円です。令和7年度についても、令和6年度と同額です。ただし、入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

5 今後の教育研究環境の整備について

学生納付金の見直しによって直接的に改善が見込まれる項目

学生納付金の見直しによって実現する教育環境整備

- 他の資産活用による増収と合わせて、物価高騰に伴う備品費等の減少を回復。教育研究設備の修繕、更新等を先延ばしにせず順次、実施。

収入	金額	支出	金額
○授業料改定による増収	3.8億円 (推計)	①物価高騰により減少した教育研究経費(備品、修繕費)の回復	2.6億円
		②授業科目増設のための非常勤講師の措置	0.1億円
		③学内の無線LAN関連設備等の充実・更新	0.5億円
		④MS365の無償提供	0.5億円
		⑤学生支援体制の充実等	0.1億円
合計	3.8億円	合計	3.8億円

※収入推計は、全学年一斉実施の場合。減免の対象者数によって金額は異なる可能性がある。
※支出は、他の財源も組み合わせて予算を編成するため、金額は異なる可能性がある。

その他に今後行っていく予定の教育環境整備（施設整備予定の例）

今後、授業料の改定以外の財源も活用して、以下のような施設設備の整備を実施し、又は実施を検討している。

◆（完成済み） ※直近のみ

- 情報融合学環等の（D-Square）の施設整備
- 附属学校国際棟の施設整備

◆（現在進行中）

- 保健学科の施設の改修、その他ライフラインの改修
- 各種の修繕（トイレ、空調等）

◆（当面の予定）

- 共創学環の施設整備
- 法文南棟の改修
- 学生会館の改修（※他の土地活用事業の収益が得られ次第、開始を検討）
- 各種の修繕の着実な実施

このほか、施設の状況に基づき順次整備を実施